



平成29年度

保健師等スキルアップ勉強会報告書

平成29年8月1日 特定非営利活動法人地域福祉ネットワークいわき事務局



保健指導に使えるリスクの比べ方

リスクコミュニケーションは地域住民と関わる保健師にとって重要な技術です。今回は保健師に求められるリスクコミュニケーションの技術を向上する行方での基本的な知識、専門家に求められる7つのエッセンスに注目しました。

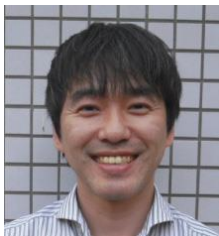
勉強会の様子

本勉強会ではリスクコミュニケーションの基礎知識について学びました。また、事例をもとにしたグループワークでは、日ごろの保健活動においてリスクコミュニケーションのスキルを用いて活動していたというコメントも多くありました。講義とグループワーク、そしてグループワークの成果を発表することで学びを共有することができました。参加された皆さんはグループワークに熱心に取り組まれていました。



講師紹介

福島県立医科大学医学部
健康リスクコミュニケーション学講座
村上道夫



略歴

2006年3月に東京大学大学院工学系研究科都市工学専攻博士課程修了。
科学技術振興機構研究員（東京農工大学）、東京大学大学院工学系研究科リサーチフェロー、東京大学総括プロジェクト機構「水の知」（サントリー）総括寄付講座特任助教、同講座特任講師、東京大学生産技術研究所特任講師を経て、2015年1月より、福島県立医科大学医学部健康リスクコミュニケーション学講座准教授。

アンケート集計結果

参加者は19名、アンケート回収は13名でした。

評価項目	そう思う*
研修の資料や進行について	
配布資料は適切だった	100%
時間配分は適切だった	100%
進行は適切だった	100%
講義について	
講義内容が理解できた	92%
講義は今後の保健活動に役立つと思う	100%
学んだことを同僚に伝えたいと思う	100%
話し合いについて	
話し合いは今後の保健活動に役立つと思う	84%
あなたご自身について	
研修を受ける前よりも、保健活動に対する自信が増したと思う	69%
研修を受ける前よりも、健康に関して住民と話し合う自信が増したと思う	61%

感想（一部抜粋）

なかなか学ぶ機会のないテーマだったので、講義を聴いていて新鮮な感じでした。継続して話を聞ける機会があると良いと思います。



*5段階評価：「1. 全くそう思わない」～「5. 大いにそう思う」の4と5の合計

* 復習ポイント *

- ・リスクコミュニケーションとは？
- ・災害関連健康リスクとは？
- ・専門家に求められる7つのエッセンスとは？



編集後記

第2回目は講義・グループワークを通して楽しみながらリスクコミュニケーションについて学びを深めることができました。演習では日ごろからリスクコミュニケーションを活用し保健活動を行っていたこと、リスクコミュニケーションの進め方、工夫点などについて共有しました。7つのエッセンスを意識して保健活動を行うことで、さらに厚みのある保健活動へとつながると思います。
(吉田)